

木々朗

初日の出螺旋階段昇り来て
鶴亀を吟ずる賀正祝いけり
炬開きや南部鉄瓶懐かしむ
風花や華やかに舞ひ淡きもの
匂の忽香を広げつつ酢味噌和え

霜寒 雑詠

細田安治

霜寒の うろこ想わす 雲湧きぬ
木枯らしに 雲ちりぢりに いずこぞや
冬の空 悟空どこぞへ 金斗雲きんとくも
公園の カリン石投げ 悪老人
暗闇みに 足元照らす 銀の月
落葉も 春の芽覗かせ いなせな樹



南部鉄器

出典：<https://ja.wikipedia.org/wiki/>